

(特非) さっぽろ自由学校「遊」

北海道道央圏における ESD ローカル・アジェンダの策定と地域拠点形成

イベントの延べ参加者数	800人
イベント参加者の満足度	90%
活動の全体目標に対する達成度	30%



SDGsに関するセミナー（2015年12月13日）

◆成果と工夫したポイント

- 成果** RCE 北海道道央圏が2015年12月に認定、2016年3月に協議会設立。その協働・連携プロジェクトとして、SDGs セミナー及び北海道の地域目標づくりのワークショップを開催（参加者延べ100名）。
- 工夫** 協働・連携の枠組みに積極的に関与し、多様な層にアプローチしていくこと。

課題

① ESD への積極的な取組みが、自治体レベルではほとんどみられず広がりに乏しい。② ESD の捉え方が既存の活動の延長にとどまり、開発や教育の変革につながっていない。

活動内容

セクターや分野を超えた ESD の地域拠点 (RCE 道央圏) の設立・運営に参画し、北海道 (道央圏) における ESD のプラットフォームを形成する。同時に、市民が自ら多様な分野の社会課題や、その解決に向けた取組みを学びあいながら、世界目標である SDGs (持続可能な開発目標) を下敷き、地域における「持続可能な開発目標」をボトムアップで策定し、広く共有していくとともに自治体政策に反映させていく。



ワークショップで出された地域目標案 (2016年2月27日)

今後の課題

ワークショップで出された地域目標案を整理して原案をまとめあげ、有効な形で公開していくとともに、ブラッシュアップしていく。その動きを RCE 道央圏と連携させ、社会課題やその解決に向けた実践の共有につなげる。